

# あさかぜ

高知学芸高校同窓会 関東支部

機関紙 第 14 号

2001・9

〒100 東京都千代田区永田町

2-1-2 衆議院第2議員会館

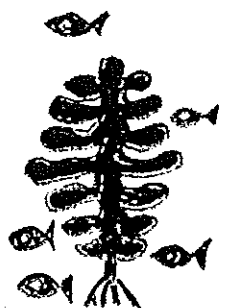
513号室 細川律夫 気付

TEL 03(3508)7513

FAX 03(3593)7148

## 猛暑・原宿・よさこい

永橋正至 (七期)



四月から花のお江戸勤務となった。東京暮らしは初めてなので、土曜日曜は精力的に東京見物している。銀座、上野、浅草、お台場、新宿、渋谷、赤坂、六本木……。江戸情緒の残る東京、最先端のTOKYOを堪能しているところだ。

中でも、今最も気に入っているのが原宿表参道。大きなケヤキが立ち並び、夜、車で走ると道の両側の商店が灯りに浮かび上がって華やいだ雰囲気。原宿は若者の街というが、なかなかどうして大人の心も浮き立つようなムードな街だ。

その原宿表参道でこの夏、「元気祭り スーパーYOSAKOI 2001」が行われ、わが郷土から踊り子隊十チームが来た。これを応援しないことは県出身者として許されないとばかり、猛暑にもめげず二日間(八月二十五、二十六日)通い詰めてしまった。初日は土曜日。明治神宮の特設ステージで十チームが乱舞する。「ほにや」が愛らし

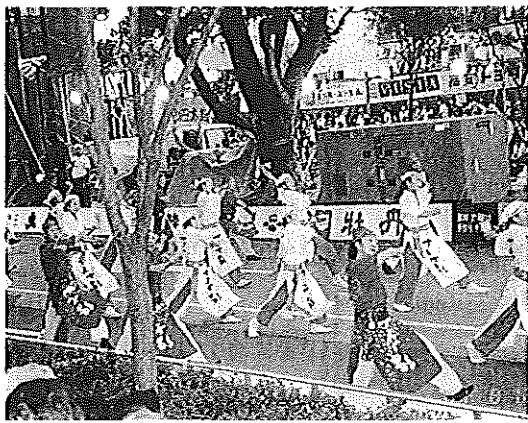


く、「十人十彩」があでやかに。おお、がんばれ。最初は観客の拍手も少なかったが、次第に大きくなり、うれしくなる。東京の人も恥ずかしがり屋さんなのだ

二日目の日曜は表参道と明治神宮内に作られた二つのステージで踊りまくる。観客は六十万人。期せずして見物客と踊り子の対話が生まれた。「みんな高知から来たの」と東京のおじさん。「はい」と若い踊り子。「すごいね」。別の所でも「よさこいっていつあるのと東京のおばさん。「八月の十、十一日が本番で九日が前夜祭、十二日が後夜祭です」と高校生の踊り子。「フーン、四日間もやるんだ」また、別の東京のおばさん二人連れは「偶然だけど表参道に来てよかったね」

「高知の女性って美人が多いね」。うれしい会話がある。ちこちで交わされる。最近では分家・札幌のよさこいソーランの方が有名になって本家は少々影が薄い。もし、

原宿表参道を乱舞するよさこい踊り子隊



本場高知での十人十彩

原宿商店街組合樺会がよさこいソーランの方を招いていたが、目も当てられないところだった。高知に声をかけてくれて本場にありがとう。

ちなみに関東、関西などからも十二チームが参加していたが、一位、二位、三位、特別賞とも本県勢が独占し、本家の実力を見せつけたのにもホツとした。

最後に「元気をありがとう。来年も来てくださいつ」と主催者の商店街幹部が感極まつて大声を出せば、「来年も来るぜよー」と踊り子達が絶叫する。わしも、来年も東京におればまた応援に来るぜよー

# 第十三回同窓会関東支部総会開催さる

平成十二年十一月十一日(土) 都市センターホテルにて (担当期 十六期生)

同窓会関東支部長挨拶

谷山次功 (二期)



願いして、どなたか逸材に支部長になっていただいで、活性化を図っていただきたいと願っております。

今日は昨日の県人会の後遺症(二日酔い?)もあり頭をかかえておりますが、本日は総会ということで、これから色々議事を慎重に審議していただきたくよろしく願います。

同窓会会長挨拶

森木弘道 (二期)

森木でございます。

同窓会をありがとうございます。かなり長いことになります。会報「BOX学芸」、皆様のお手元に届いていると思います。が、皆様にお届けするためには協力依頼ということで、振込み用紙を入れてあります。関東支部の方は「あさかぜ」とダブルかもしれません。ゼ



ひご協力をお願いします。

それから、ご住所が変わられた方は必ずご連絡ください。

七年後には学芸も五十周年を迎えます。卒業生は一四〇〇〇人にもなり、学芸の勢力は膨大なものになってきておりますが、少子化のためなかなか生徒が集まらなくなってきました。お子さんやお孫さんがいましたらぜひ学芸へ。

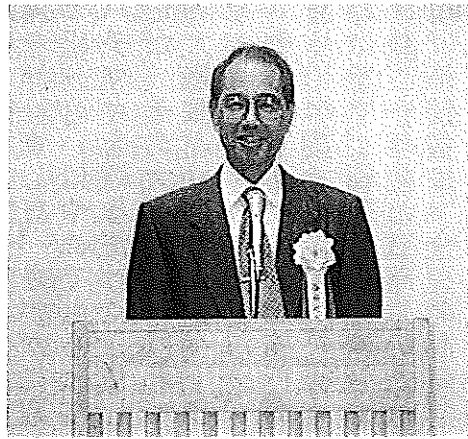
同窓会と致しましては、中国支部が岡山にできそうだと

いうニュースも入ってきてお  
ります。中国地方にお友達が  
いらつしやいましたら情報を  
流してあげてください。

また、ホームページも開設  
しておりますので、併せてよ  
ろしく願います。

校長挨拶

## 谷脇 浩二



谷脇でございます。昨年は  
この会場に来るのに麴町まで  
乗り過ぎしてしまいました、  
大変うろたえましたので、今  
日はそういうことのないよう  
に、しっかり地図を見まして、  
永田町で降りてやってまいり  
ました。

私の方からは学校からの報  
告と致しまして、いくつもお  
話させていただきたいと思い  
ます。

三月二十四日は上海列車事  
故の起こった日で、学校では  
慰霊式を行うようにしており  
ます。事故の際には関東支部  
のOBの方々から、物心両面  
にわたって絶大なるご支援を  
いただきましたありがとうございます。  
今年も十二回目の慰霊  
式を迎えたわけですが、この  
たび追悼歌にあたります「さ  
よならは言わない」を合唱部  
が歌いました。この歌は作詞  
家、紺野あずささんとしてご  
活躍中の六期生の村岡（旧姓  
窪田）寿子さんが作詞にたず  
さわり詞ができました。また  
その紺野さんの依頼というこ  
とで、大変著名な作曲家の方  
が合唱曲として完成させてく  
れました。近年四国の合唱コ  
ンクールで金賞を取った合唱  
部ですが、慰霊式の前から音  
楽室で練習をしていたようで  
ありますが、そこへ高知のテ  
レビ局の取材が入りまして、  
突然マイクを向けられたよう  
であります。どう思つかとい  
うようなことを。高校生の男

の子でありましたが、「僕達  
はまだ生まれて間もない小さ  
い頃であつたので、事故のこ  
とが記憶に残っているという  
年ではないけれど、僕達の先  
輩が修学旅行で大勢亡くなつ  
たということは大変重大なこ  
ととして受け止めていかなく  
てはいけません。そしてこれか  
らこういう悲劇が二度と起こ  
らないように、皆で気を付け  
ていかなければいけないと思  
います」という、そういう風  
な返事をしたわけです。私は  
それを見て、聞いて、たいし  
たものだなあと思いました。

夏休みには吹奏楽部が、幡  
多の方の支部長の肝煎りで、  
地元中学校の生徒と一緒に  
練習をしてやって欲しいとい  
うことで、楽器を大型トラッ  
クに満載して行き、宿毛市で  
合同練習が実現しました。学  
芸の生徒は、とつつきにくい  
んではとか、話しにくいので  
はとかの杞憂があつたようで  
すが、いざ練習が始まると学  
芸のどの生徒も親切で、また  
自分達の練習の時には、皆が  
本心に真剣に取り組む姿が印  
象的だった、との感想が寄せ  
られました。宿毛市に大変立



先生今受け付け中（16期生）

派なホールができておりまし  
て、そこで発表会をしたわけ  
です。演奏の途中に時々ソロ  
を入れました、「〇〇中学校  
の誰々さんです」と紹介しま  
すと大拍手というわけで、大  
いに盛り上がりました。  
夏が過ぎて秋になりますと  
大運動会。高校はなくなつて  
しまいました。が、中学校では  
大運動会があるわけです。全  
国的に生徒の安全管理が第一  
で、ケガの心配のあるような  
ものはほとんど姿を消してお  
り、騎馬戦などはその最たる  
ものです。ところが学芸は全

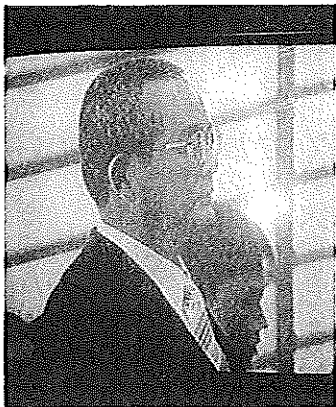
員がやるうやるうということ  
で、それを見ていた女子が反  
省会の時に「私達もやりたい  
ということになり、これは元  
気で頼もしい、土佐にはハチ  
キンという言葉もあるし、そ  
のたくましいハチキンを育て  
なければならぬということ  
になりました、今年女子が  
馬を作りました。さすがに取  
つ組み合いはやめてもらつて  
ハチマキを取るだけにしまし  
たが、その大運動会が終わつ  
た大感激ぶりはホームページ  
で、ぜひ見ていただきたい。  
そして、高校は修学旅行が  
あり、学芸では二年生が行く  
わけです。留守番組としまし  
すか、一年生と三年生のため  
に、外務省に「全国の高等学  
校を対象に、海外の色々な国  
がおかれている状況について  
もつと知ってもらおう」とい  
う動きがあり、希望する学校  
には出向きますということ  
で、生まれて初めて外務省に電  
話をしました。そして、卒業生  
でもあり、教え子でもある吉  
原健吾君（二八期生）が来て  
くれました。約七〇〇人を対  
象に「国際社会における若者  
の役割」というテーマであり

ましたが、実際には「スピー  
ドの解散」ということから話  
し始めて、生徒がワーときた  
わけです。私は「スピードの  
解散は何?」。スピード位は  
高校生相手だから、知つてお  
らにやいかんと言われてしま  
いました。生徒の質問にもし  
っかり付き合つてくれて、そ  
の日のうちに、バスで日章へ  
と向かわれました。ありがと  
うございました。

平成十三年一月十二日、皇  
居・宮殿「松の間」にて催さ  
れた歌会始に、大野正さん八  
期生）が出席されました。

お題 「草」

「野兔の草踏む音ぞ聞こえ来  
る風無き冬の夜の深くして」



特別寄稿  
「ら」抜き言言葉の現心怖  
十五期 岡田雅善

十一月三日は年に一度の同窓会。こんなご時世だからこそ  
つたに「見れん顔と聴けん声」で心を暖めようと思つていら  
つしやる方も少なくないはず。

「ありや、しもうた。「ら」が抜けちゆう。  
島田荘司の「ら抜き言葉殺人事件」で一躍脚光を浴びた「ら  
抜き言葉」。数年前の国語審議会では「誤り」とされ、またウ  
エップ上には「ら抜き言葉撲滅委員会」なるものまで現れ、す  
っかり「日本語」の「美しさ」を乱す元凶に奉られてしまつて  
いる。最近では、パソコンの日本語変換ソフトATOK（13以  
降?）でも「たべれる」と入力すると、「食べれるへら抜き表  
現」と表示されるらしい。

これではまるで昭和の「マルキスト狩り」ならぬ平成の「ラ  
ヌキスト狩り」ではないか。  
皆様の中にも「ラヌキスト狩り」の被害に遭われ、ムカツ、  
あるいはドキツ、とされた方、一杯いらつしやいますよね?そ  
う、私たちの生まれ育つた、四国の太平洋に面した田舎町では  
「ら抜き言葉」が「正しい土佐弁」として一般的に使われてい  
ます。また、土佐弁だけでなく、北海道から沖縄に至る数多く  
の方言に「ら抜き言葉」が使われているようです。

「えー、もうすぐ昼飯が食べられる」ゆう言いは誤りです  
正しくは「昼飯が食べられる」です。…それにしても、おまん  
ら昼飯前によく寝れるねや」

「えー、もうすぐ昼飯が食べられる」ゆう言いは誤りです  
正しくは「昼飯が食べられる」です。…それにしても、おまん  
ら昼飯前によく寝れるねや」

「えー、もうすぐ昼飯が食べられる」ゆう言いは誤りです  
正しくは「昼飯が食べられる」です。…それにしても、おまん  
ら昼飯前によく寝れるねや」

**高知学芸高校同窓会関東支部会計報告**  
(2000年11月8日現在)

<b>1. 収入の部</b>		
1) 前年度よりの繰越金		1,622,727
2) 第12回総会参加費 (@7,000×120名+@1,000×8名)		848,000
3) 年会費		650,440
総会当日徴収分 (@2,000×96名)	192,000	
郵便振替分	458,440	
4) 同窓会本部よりの祝金		100,000
5) 銀行利息		669
	収入計	3,221,836
<b>2. 支出の部</b>		
1) 第12回総会費用		900,240
イ. 都市センターホテル支払分	813,255	
ロ. 抽選会景品	49,825	
ハ. 二次会費用(「ねぼけ」 来賓分@6000×6名)	36,000	
ニ. 諸道具発送費(宅急便)	1,160	
2) 第13回総会案内および「あさかぜ13号」作成・発送関係		
A. 支払先 (株)サンエフ商会		121,380
イ. あさかぜ13号印刷代(@50×2,300)	115,000	
ロ. 消費税	5,750	
ハ. 払込手数料	630	
B. 支払先 (株)サラト		302,033
イ. 振込用紙印刷(@10×1,517)	15,170	
ロ. 宛名出力(@8×1,457)	11,656	
ハ. ハガキ両面印刷・窓封筒(@15×1,487+@13×1,457)	41,246	
ニ. 会報折り・封入・封緘((@5+@4+@3)×1,457)	17,484	
ホ. 基本料金	5,000	
ヘ. 消費税	4,527	
ト. 切手・ハガキ代(@90×1,457+@50×1,487)	205,480	
チ. 運送費	840	
リ. 払込手数料	630	
C. その他郵送料		10,870
イ. 追加分発送・返信ハガキ代((@90+@50)×50)	7,000	
ロ. 幹事会案内発送 @48×30	1,440	
ハ. 幹事への名簿発送 @90×27	2,430	
3) 幹事会補助		
'00/9/7 15,750      '00/11/2 24,885		40,635
4) その他		
高知商業高等学校関東校友会会費		10,000
	支出計	1,385,153
<b>3. 残金</b>		1,836,678

会計担当：筒井 由美子

**監 査 報 告 書**

会計担当である筒井氏の作成した「高知学芸高校同窓会関東支部会計報告(平成12年11月8日現在)」について監査致しました。同報告書は正確かつ適正に作成されていることを、ここに報告致します。

平成12年11月11日

会計監査 戸田 典尚

# ようこそ先輩！ 国見昌宏先輩（一期生）

一期生の国見でございます。昨年十二月に防衛庁を退職いたしました。現在ヤマト運輸という宅急便の会社に入ります。宅急便というよりも国際事業の担当をさせていただいております。

先般関東支部の役員の方から、本日約一時間話をするようにとのご連絡をいただきました。今から私がお話するのは土佐弁ではなくて、標準語でやります。というのはウソで：（笑い）ご連絡をいただきました。まっこと、こりや困ったもんじや」と思いました。と言いますのも、毎年この関東支部の楽しさというのは、半分は母校の先生方から、母校の様子が聞けたり、なつかしい土佐弁での授業が受けられたり、それが一番の楽しみになっていました。そして半分は飲める、簡単に言うとそのでございましたが、

それが私になると、参加する皆さんが半減するんじゃないかなろうか、と。こりや困ったもんじやと思っております。そんなことを申しましたら、



イヤ、これから各期にやってもらうき、最初は一期にやってもらわんと後が続かんきに、適当にやりや、という話であります。適当にやっつかま

んやったら、ほんならまあえいわ、ということ引き受けただけでございます。

そうとは言いながら、何を話しようかと大分悩んだ次第でございます。先程ご紹介いただきました防衛庁の情報は、三年前でございましたが、ペルー大使館で大使以下が人質になったという事件がございました。ちょうどそういつた最中に着任を致しました。

これからペルーのゲリラはどのような行動を取るのか、それに対してペルーの警察が対応すると言っておりますが、多分最終的には、軍隊が起用されるであろう、ペルーの軍隊は一体どのような力を持つちゅうのだろう、そんなことを調べるといふことをやっております。

それから後もいろいろございまして、まあ、世間をお騒



がせしたのは、北朝鮮がテポドンというミサイルを発射しているのは、北朝鮮がまた佐渡ヶ島周辺に二隻の工作船を来させておりました、それに対して、海上自衛隊、あるいは海上保安庁の船で追跡を致しまして、まあ、北朝鮮側に逃げ帰ったというような事がございました。その他諸々の事項がありました。そのようなことを詳しくお話すると、ほとんどが国家の秘密ばかりでございますので、あまり詳しくお話することはできませんが、ご質問があれば、中身について触りぐらいいは申し上げようというふうな具合に考えております。

適当にやりや、とこう言うてくれましたけれど、気になりましたので、これだけ沢山ペーパー（資料）を用意しまして、この内の何にしようかと未だに考えているところで